

サルでもわかる

TPP

がやばい9つの理由



とても大切なお知らせがあり、有権者の皆様に、ちらしをお配りしています。

3月15日、自民党の安倍晋三首相は、公約をやぶり、「TPP」交渉参加を表明しました。

「TPP」とは、国の形を根底から作り替えてしまう、私たちの生活にとって大変危険な外国との取り決めです。このちらしを通して、

「TPP」の危険性をご理解いただき「TPP」に賛成している以下の政党には投票を控えていただきますよう、ご検討ください。

TPPを推進する政党:

自民党、公明党、民主党、日本維新の会
みんなの党

より詳しい情報は次のホームページをご覧ください。

●サルでもわかるTPP

<http://project99.jp>

●考えてみようTPPのこと

<http://www.think-tpp.jp>

●WJFプロジェクト

(このチラシは下のサイトでダウンロードできます。

印刷してお知り合いの方にお配りください。)

<http://wondrousjapanforever.cocolog-nifty.com/>

1. 格差社会が進行し、デフレが悪化します。

海外から安い労働力や商品や農産物が流入してきます。日本人の賃金はどんどん下がります。日本の企業は海外に出て行きますから、国内で日本人が働く場所は減っていきます。失業率は増加し、大学を出ても仕事に就けない人がたくさん街にあふれるようになります。アベノミクスの効果はなくなり、デフレが悪化します。

2. 日本は、移民国家になり、国柄や文化が失われていきます。

TPP域内で、人の移動が自由化されるため、日本にたくさんの移民が押し寄せてくるようになります。日本は、本格的な移民国家となり、日本の国柄や文化は次第に失われていきます。

3. 国民皆保険制度が崩れます。

日本には世界に誇る「国民皆保険制度」があり、誰でも社会保険や国民健康保険に加入しています。TPPに加入すると、混合診療(保険診療と保険外診療の併用)が解禁されます。お金持ちは以前より安価に先端医療を受けられるようになりますが、「国民皆保険制度」の崩壊や適用範囲の制限を招き、貧しい人たちが受けられる医療の質を下げるようになります。アメリカのように盲腸などの簡単な手術を受けるだけで高額な医療費を払わなければならないったり、医療費を払えないためにたくさんの人が死んだりするようになります。

4. 海外の危険な食品を規制できなくなります。

遺伝子組換え食品の輸入規制や、BSE(狂牛病)の発生を受けた牛肉の輸入規制などを設けることができなくなります。危険な食品が街にあふれます。

5. 国民の税金が海外に流出します。

政府による物品・サービスの購入や公共事業の入札に海外の業者の参入を認めなくてはなりません。国民の税金が、国内で回らずに、海外に流出します。公共事業を景気対策として使うことができなくなります。またTPP参加によって経済のグローバル化が進めば、アベノミクスにより、日本政府が国債を発行し、公共事業を増やしても、お金が外国に流れていってしまう割合が大きくなり、デフレ脱却につながりません。

6. 日本の農業は崩壊し、食料自給率が劇的に下がります。

アメリカやオーストラリアから、安い農産物が津波のように日本を襲います。東北の被災地は、日本にとって大切な農業地域ですが、農業を続けようとする人たちはいなくなります。農業技術の伝承が一旦途絶えると、再開は困難です。日本の食料自給率は大きく減少してしまいます。輸入への依存度が高まれば、世界ですでに起きている穀物不足などの食料危機の影響を受けやすくなります。何かの理由で輸入が途絶えば、国内で深刻な食料不足が発生します。

7. 国民の資産が奪われます。

私たちは、郵便貯金と簡易保険に200兆円を超える資産をもっています。この資産を使って、日本政府が発行する国債を買い支えています。TPP参加によって、日本人のこの資産を、日本国内だけでなく、国外にも無差別に投資させられるようになります。日本人の資産が、アメリカの国債のような外国の債券で運用されるようになると、日本の国債の価格が暴落し、破綻する可能性も生まれます。簡易保険や共済も解体させられるようになります。

8. 国民主権が崩壊します。

TPPには、ISD条項というものが含まれます。ISD条項とは企業や投資家が、自分たちの金儲けの妨げになる規制を特定の国家がもうけた場合に、その国家を訴えることができるという決まりのことです。政府が、国民の生活を守ろうとして何らかの規制やルールを設けようすると、政府が外国企業から訴えられ、その規制を廃止することを強制されたり、罰金を払わさせられたりするようになります。

9. 一度入ったら抜けられません。

オークランド大学のジェーン・ケルシー教授(法学博士)は、TPPは「一旦入ったら、変更できない、出られない、国の権限は全く役に立たない」と警告しています。TPPに一旦参加してしまうと抜けることは容易ではありません。また、TPPにはラチェット規定という決まりがあります。「ラチェット」とは一つの方向にしか回らない歯車のことです。一旦規制を取り除き、自由化したら、それによってどんなに不利益が生じても、国民の利益を守るために、元の規制を復活させることができないというルールです。